

令和3年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立池雪小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

【低学年】

- ・音楽に親しんで曲に合わせて歌唱することができた。
- ・リズムを感じたり拍をとったりして音楽を聴くことができた。

【中学年】

- ・歌唱では声を響かせることに集中せず、「目の前の聴いている人を喜ばせよう」等、具体的に目標を定めることにより、現在の状況下でも優しい響きのある歌声を学ぶことができた。
- ・鑑賞では、聴いた曲を歌ってまねたり、身体を使って表現したりして、より楽曲に親しむことができた。

【高学年】

- ・声量は減少したが、美しい響きの意識をもって歌唱している。
- ・音楽づくりや鑑賞を時間をかけていねいに行った。課題をもって注意深く聴き取ったり、思いや意図をもって工夫してつくったりすることができた。
- ・学習したことを発表する活動(ミニコンサート等)に意欲的に取り組んでいた。

【全学年共通】

- ・デジタル教科書、タブレット、大型モニター等を使用することで、学習を補うことができた。

(2) 課題

【低学年】

- ・マスク着用のため、歌唱の指導と評価が難しかった。
- ・口や舌や息の強さ細さのコントロールが困難な児童が増えている。

【中学年】

- ・リコーダーや鍵盤ハーモニカのような吹奏楽器の息使いや、タンギング及び指使いの基本的奏法を身に付け、楽曲の演奏の表現に生かすことに課題がある。
- ・鑑賞の学習では、音楽の要素(リズムなど)が楽曲のよさや面白さに深く関わっていることに気付くことが難しい。

【高学年】

- ・リコーダーや鍵盤ハーモニカのような吹奏楽器の息使いや、タンギング及び指使いの基本的奏法の習得に課題がある。
- ・マスク着用の影響があり、歌唱での美しい発音や強弱、ブレスなど、表現の工夫をすることが難しい。

【全学年共通】

- ・新型コロナウイルス感染症対策のため、歌唱やリコーダー・鍵盤ハーモニカ等の吹奏楽器の演奏やグループ活動などの学習で十分に時間をとって学習することができなかった。そのために、基礎的な技能の向上に課題がある。

2 授業改善のポイント（観点別）

（1）低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 指や息の使い方をポイントにして、鍵盤ハーモニカ等を繰り返し練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲想によって歌い方を変えたり、音楽を聴いて友達に気付いたことを教えたりする活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かしたりリズムをとったりしながら、楽しく活動する場を設ける。

（2）中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> リズムや階名を理解できるよう既習曲を振り返り、学習を重ねる。 リコーダーの基本奏法を習得できるよう、学んでいる曲から課題を設定し、繰り返し練習する、 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている素はリズムや拍等であることを知り、楽曲の中で具体的に理解を深め、曲を味わったり表現したりできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> グループ活動を通して互いの思いや工夫の良さを知り、自らの学習に生かせるよう発表する場を設けたり、ワークシートを活用したりする。

（3）高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> リズム唱や階名唱を十分に行い、基本的な演奏の技能を伸ばす。特にリコーダーは1学年前の段階まで戻り、指使いや息の使い方を復習する。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達との交流やワークシートを手掛かりに、音楽を聴いて感じたことと音楽の要素（強弱、音色等）との関わりを考える学習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 思いや意図を明確にもつことができる教材を選択する。 表現の場までの練習に見通しをもつことができるように活動を提示する。